

手島精管株式会社（医療用精密部品製造業） 群馬県館林市

＜海外展開のきっかけ＞ グローバルポテンシャルマーケットを見極め顧客獲得を実現する為
＜成功のポイント＞

- 日本特有のきめ細かいサービスと、高品質、高精度、高技術を確立した製品提供の維持
- 2013年に新設した工場環境対策、生産効率向上を実現

【事業者概要】

売上高10億円、従業員40人、資本金2,000万円

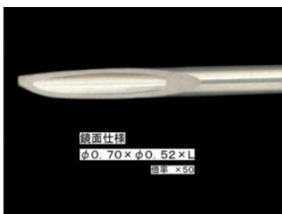
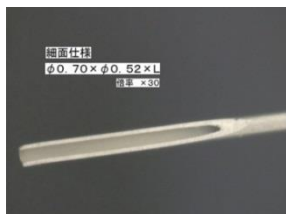
主力商品：注射針を中心とした精密ステンレスチューブの製造・加工

進出先国：アメリカ、韓国

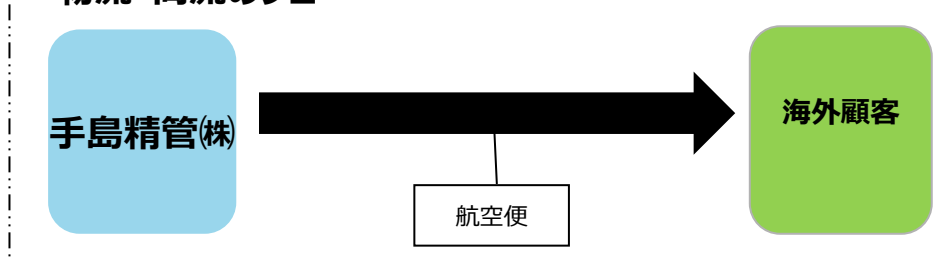
医療用をはじめとする、高精度を求める顧客に対応可能。特に、パイプ内面を滑らかにする高度な加工技術や、治具の組み合わせノウハウにより、超極薄、小外径、パイプの多品種（400種類）かつ量産が可能。医療注射針用ステンレスチューブ製造においては、世界トップクラスの生産量を誇る。

【経緯】

- 1989年12月 韓国に現地法人である(株)韓国手島を設立し、コストメリットを目的とした量産体制を確立。
- 2009年9月 海外顧客へのローカル対応を強化するため、米国にマーケティング会社を設立しグローバル展開を加速。
- 2011年6月 Medtec Japanに出展。以降、国内外のメディカル関連の展示会に出展維持。
- 2012年7月 国内立地推進事業費補助金採択（要件A）



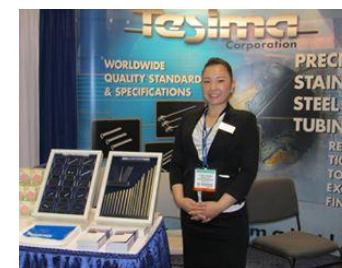
物流・商流のフロー



【経営者から】手島 由紀子

● ひと言

当社は、メディカル・バイオ関係の企業が多くあるアメリカボストンに拠点を置くことで、業界情報をはじめとし、顧客のニーズに対応する為の情報収集、特に、ローカル活動に力を入れる事により、海外展開を進めてまいりました。当初は、人材の確保が困難だったボストンオフィスの経営も、ボストン特有のグローバルビジネス人材をメインに確保する事で、ボストンオフィスの円滑な運営が可能となり、更にマーケティング及び営業の活動レベルを維持向上させる事で、顧客との信頼強化に結びつける事ができたと思います。現在では、海外企業との取引においては深いコミュニケーション力、顧客要求の理解力、そしてスピードが、非常に重要だと感じております。



手島 由紀子社長